【月刊 H M レポート: Vol. 185】 2017 年 02 月号

【成果を出す組織を作るマネジメント】シリーズ





現状改革や新規挑戦を企図する前に まず求められる時間的余裕創造

◇◆◇ 管理者活動を中心に"社内風土"が半年で変化 ◇◆◇

◆本レポートの内容◆

| [1] | 1 | 新しい事業機会 | への挑戦 | "余裕" | を失った組織 | 1 | 3 |
|-------|---|---------|------|------|--------|---|---|
|-------|---|---------|------|------|--------|---|---|

【2】必要以上に多忙で重要業務に取り組む時間不足 …… 2分

【3】"重要業務"凝視で"不要業務"が浮き彫りに! …… 3分

【4】現場の業務内容に"無頓着"過ぎたという反省 …… 4分

【5】硬直的になりがちな組織を"柔軟"にする秘訣 …… 5拳



市場環境も国の政策も、次々に変化して行く中で、今、企業経営には"これまでにない挑戦"を強いられるケースが増えているはずです。ところが、 既存業務で"多忙"を極める組織では、なかなか"新しい課題"に取り組む 余裕を見出せないのも、また現実かも知れません。

そんな中で『既存業務はもっと軽減できる』と指摘する経営者がおられます。そして『今、経営トップは"現場の働き方"にもっと積極的に関与すべきだ』と言われるのです。その具体的な内容とは…。

JPC 労務管理センター JINJIKEN 人事労務管理研究所

〒460-0015 名古屋市中区大井町 2-11 (同所併設)

Mail: info@jinjiken.co.jp

- SPC 労務管理センター TEL:052-331-0844 FAX:052-321-1108
- **JINJIKEN 人事労務管理研究所** *TEL:052-331-0845 FAX:052-321-1125*

SRヒューマン・マネジメント研究会

私どもでは、人材や組織管理に関わる業務を通じて、広く皆様方のマネジメントをご支援いたしております。 そうした活動から得た

そうした活動から得た 様々な考え方等を、当 事者の皆様にご了解を 頂いた上で、事例とし てご提供しています。